

ビデオチャット対応シームレスセクター LMS-GC53U2 ユーザーズガイド

HDMI 入力 4	RGB 入力 1	HDMI 出力 3	USBキャプチャー 出力 1
スケーラー搭載 1080p出力	スケーラー搭載 WUXGA出力	外部制御	
		RS-232C	接点
HDCP対応	RoHS (10物質対応)	PinP機能搭載	

はじめに「**使用上の注意**」と「**安全にお使いいただくために**」を必ずお読みください。
本システムを最大限にご活用いただけるよう、ご使用前に本書(保証書付)を必ずお読みください。

◆御注意◆

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

使用上の注意

- 他の製品と重ねてご使用にならないでください。熱による誤動作・火災の原因になります。
- 使用中にケーブルの抜き差しは絶対に行わないでください。
- 接続の際は、機器の電源をOFFにして接続を行ってください。機器の故障の原因になります。



安全にお使いいただくために

必ずお読みください




ここでは、製品を安全に正しくご使用いただき、使用者や他の人々への危害及び財産の損害を未然に防ぐための説明を記載しています。
製品使用者は必ず本書を読んだ後、内容をよく理解した上で製品を正しく使用してください。
本書は読み終わったあとも、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

文中の絵表示には次の様な意味があります。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が重傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみ発生が想定される内容を示しています。

表示の例

	△記号は、注意・警告を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意の内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。
	⊘記号は、禁止の行為を告げるものです。 図の中や近辺に具体的な禁止の内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	●記号は、行為を強制し指示する内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な指示内容(左図の場合はプラグを抜くこと)が描かれています。

**警告**

以下の場合、すぐに本体のスイッチを切り、その後必ず電源プラグ・ACアダプターをコンセントから抜いてください。

そのまま使用しますと火災・感電の原因となります。当社または販売店にご連絡ください。

- ・異音・異臭・煙が出ている場合
- ・内部に水や異物などが入った場合
- ・本体を落とした場合、破損した場合
- ・電源コードが傷んだ場合



本体の分解・改造・お客様での修理は絶対にお止めください。

感電の原因となります。整備・点検は当社または販売店にご依頼ください。



本体の上に花瓶・コップ・薬品や水の入った容器または小さな金属物を置かないでください。

容器の中の物がこぼれたり、機器の中に入ると火災、感電の原因となります。



ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



範囲外の電源電圧(交流100V±10%の範囲外)で使用しないでください。火災、感電の原因となります。



本体の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を内部に入れないでください。

火災、感電の原因となります。



電源コードを傷つけないでください。

電源コードが破損して火災、感電の原因となります。

- ・電源コードの上に重いものをのせない。
- ・電源コードを加工しない。
- ・電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- ・電源コードを加熱しない。



水気の多い場所で使用しないでください。

火災、感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、本体、電源コード・ACアダプターに触れないでください。

感電の原因となります。

**注意**

以下のような場所に置かないでください。

火災・感電の原因となることがあります。

- ・湿気やほこりの多い場所
- ・湯煙や湯気が当たるような場所(加湿器のそばなど)



本体の通風孔をふさがないでください。

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



本体の上に重いものを置かないでください。

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



電源コードを熱器具に近づけないでください。

ケーブルの被ふくが溶け、火災、感電の原因となることがあります。



電源プラグ・ACアダプターを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。

ケーブルが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

必ず、電源プラグ・ACアダプターをもって抜いてください。



濡れた手で電源プラグ・ACアダプターを抜き差ししないでください。

感電の原因となることがあります。



移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグ・ACアダプターをコンセントから抜き、接続ケーブルなどを外した上でおこなってください。

ケーブルが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



お手入れの際は安全のため電源プラグ・ACアダプターをコンセントから抜いておこなってください。

感電の原因となることがあります。



長期間使用しない場合は、安全のため電源プラグ・ACアダプターをコンセントから抜いてください。

火災の原因となることがあります。



1 パッケージ内容

以下の商品が揃っているかご確認ください。

- クイックガイド/ユーザズガイド(本書)
- LMS-GC53U2 (本体) ×1
- 操作BOX ×1
- モジュラーケーブル5m ×1
- USBケーブル(TypeC- TypeA ケーブル)2m ×1
- ACアダプター ×1
- アース線 ×1
- HDMI抜け防止器具 ×7
- 操作BOX用シール ×1
- プロジェクター設定ソフト ※ダウンロード提供

2 製品の特徴

本製品は、オンラインと対面を組み合わせた「ハイブリッド方式」の会議、プレゼン、セミナーなどの運営に適した高機能HDMI切替器です。

◆ 入力解像度WUXGA対応

解像度VGA(640×480)～WUXGA(1920×1200)に対応しています。

◆ 専用操作BOX(☞8 各部名称・LED(操作BOX))

どなたでもご利用いただけるようワンタッチ操作が可能です。

◆ プロジェクター電源制御(☞12 操作方法)

「LMS-GC53U2」では、1台のプロジェクター電源制御ができます。これにより、プロジェクターリモコンを利用せずに一連の操作が可能になります。

◆ ボリューム調節機能(☞12 操作方法)

「LMS-GC53U2」に接続している機器の音量調節ができます。

◆ Picture in Picture機能(☞12 操作方法)

選択中のソース画像の一部に別のソース画像を小さく表示する機能です。「LMS-GC53U2」に接続された映像ソースのうち、2ソースを選択して2画面を同時に表示できます。

◆ USB OUT搭載

ビデオチャットツールをインストールしたパソコンを接続することで、映像・音声をオンライン会議の参加者に配信することができます。

◆ EDIDラーニング機能(☞10 EDID設定方法)

接続されたディスプレイのEDID情報(※1)を本装置に記憶させます。Plug and Playを正常に行わないと出力しないデバイスに対して、EDID情報を与えることで、正常に画像出力されるようにします。

◆ スクリーン制御(☞12 操作方法)

接点制御で電動スクリーンの「昇」「降」「停」を制御することができます。

◆ パワーディストリビューター電源制御(☞12 操作方法)

接点制御でパワーディストリビューターの電源制御ができます。

◆ シームレス切替機能

画像を切替える時に途切れなく切替表示ができます。

◆ HDMIケーブル抜け防止

HDMI抜け防止器具により本装置に接続されたHDMIケーブルの抜けを防止します。(☞『HDMI抜け防止バンド取り付け方法』参照)

◆ RoHS対応

人体や環境に有害な10種類の物質の使用を制限したRoHS指令に対応しています。(RoHSは10物質対応(EU)2015/863です)

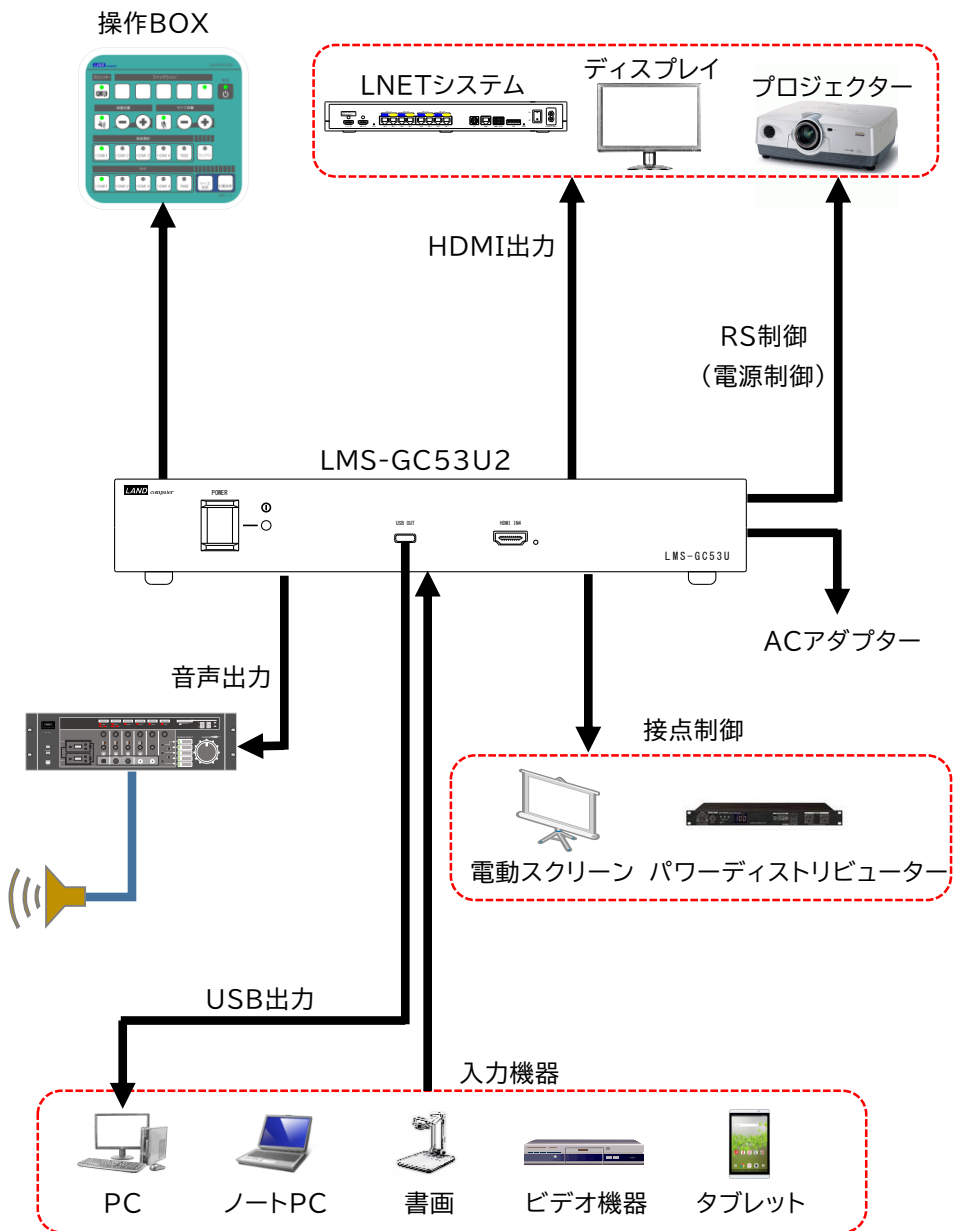
※1 Extended Display Identification Dataの略称

ディスプレイ固有の情報(対応する周波数や解像度など)が記録されたデータ

3 製品仕様

入力対応解像度	VGA(640×480)~WUXGA(1920×1200)	
出力解像度	1920×1080 1920×1200 (スルーモードを除く)	
入力	映像	デジタル4系統(HDMI×4)アナログRGB 1系統
	音声	ステレオミニピン 2系統(RGB/マイク入力用)
出力	映像	・デジタル 4系統(HDMI×3 USB TypeC×1) ・HDMI IN1折返し用HDMIポート
	音声	RCA 1系統 ステレオミニピン 1系統
	接点	接点容量 DC100V、500mA以内
外部制御	RS-232C 1系統、接点制御(6連)	
HDMI対応規格	・HDMI Ver.1.4 ・HDCP 1.4	
動作環境条件	気温5~40℃ 湿度20~80% (但し、結露の無いこと)	
外形寸法	本体 300(W)×160(D)×44(H) mm ※ 操作BOX 140(W)×132(D)×24(H) mm ※ ※但し、突起部分を除く	
電源	ACアダプター(AC100V/DC12V)	
消費電力	35W以下	
重量	本体 約1.6kg 操作BOX 約240g	

	入力
対応解像度	VGA(640×480) SVGA(800×600) XGA(1024×768) SXGA(1280×1024)
	480P(720×480) 720P(1280×720) 1080i(1920×1080) WXGA++(1600×900)97.8MHz WXGA++(1600×900)108MHz FullHD(1920×1080)138.5MHz FullHD(1920×1080)148.5MHz WUXGA(1920×1200)154.0MHz ※アナログRGBは、 WXGA++(1600×900)97.8MHz、 1080iに対応していません。

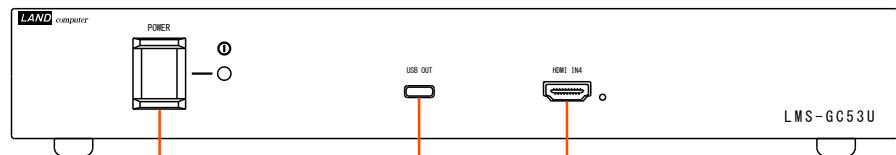


Attention

- ・ケーブルや機器類の接続時は、本体の電源プラグをACコンセントから取り外した状態で作業を行ってください。
- ・HDCP非対応ディスプレイ・プロジェクターへは表示できません。
- ・出力映像はFullHDまたはWUXGAで出力されます。ディスプレイとプロジェクターの対応解像度はFullHDまたはWUXGA対応の製品をご用意ください。

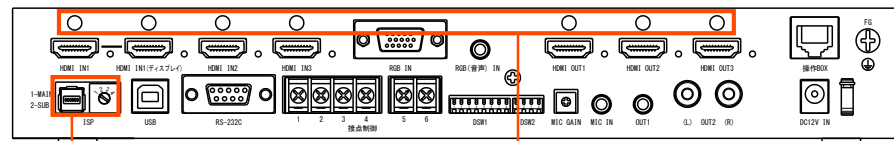
5 各部名称(LMS-GC53U2 本体)

LMS-GC53U2 前面図



- POWER**
主電源 ON/OFF
- USB OUT**
キャプチャー用映像出力端子
PCに接続
- HDMI IN4**
HDMI出力機器を接続

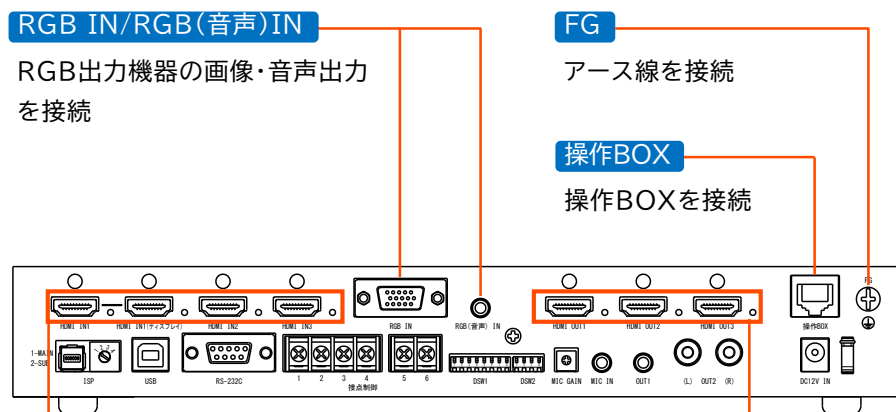
LMS-GC53U2 背面図



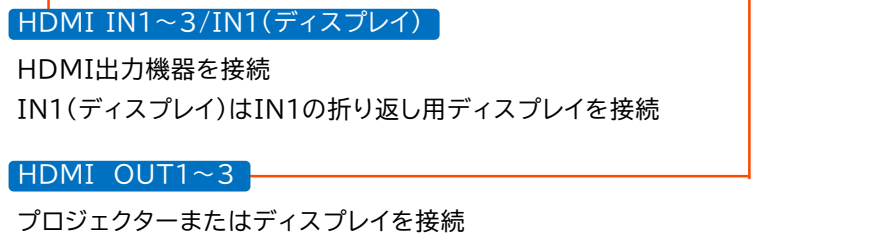
- ISP(MAIN/SUB)**
メンテナンス用
- HDMI抜け防止器具取付け口**
固定器具を装着※1

※1 HDMI抜け防止器具の装着方法に関しましては、抜け防止器具に添付している『HDMI抜け防止バンド取り付け方法』を参照してください。

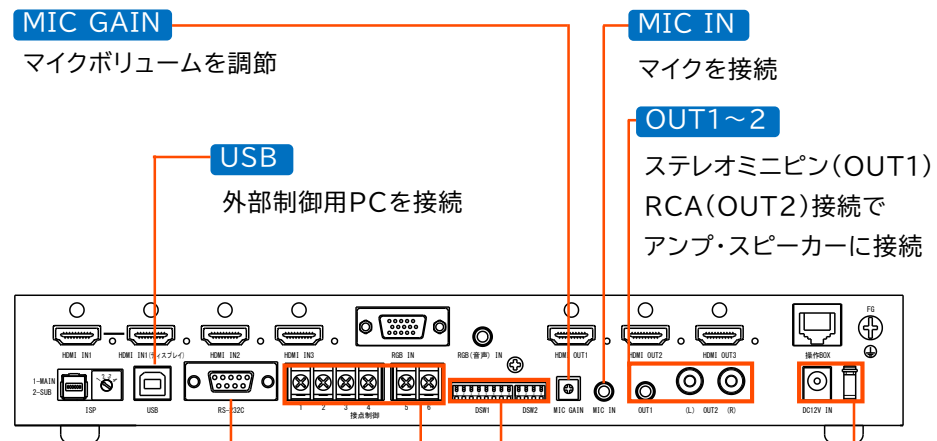
LMS-GC53U2 背面図



- RGB IN/RGB(音声)IN**
RGB出力機器の画像・音声出力
を接続
- FG**
アース線を接続
- 操作BOX**
操作BOXを接続



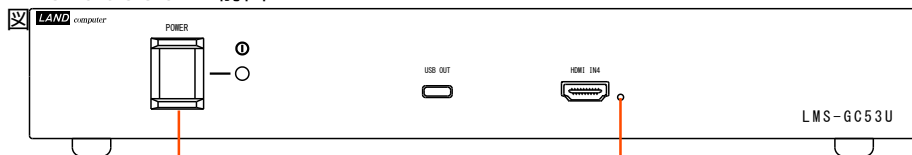
- HDMI IN1~3/IN1(ディスプレイ)**
HDMI出力機器を接続
IN1(ディスプレイ)はIN1の折り返し用ディスプレイを接続
- HDMI OUT1~3**
プロジェクターまたはディスプレイを接続



- MIC GAIN**
マイクボリュームを調節
- MIC IN**
マイクを接続
- OUT1~2**
ステレオミニピン(OUT1)
RCA(OUT2)接続で
アンプ・スピーカーに接続
- USB**
外部制御用PCを接続
- RS-232C**
プロジェクターまたはオプションの
PLinkアダプタ(LAD-ETPJ1)
を接続
- 接点制御**
スクリーンまたはパワーディストリビューター
を接点制御
1~4・・・スクリーン制御用
5~6・・・パワーディストリビューター制御用
- DSW1/DSW2**
動作設定用
- DC12V IN**
ACアダプターを接続
- DCプラグ抜け防止**
ACアダプタコードを留め具
に固定

6 LED(LMS-GC53U2 本体)

LMS-GC53U2 前面



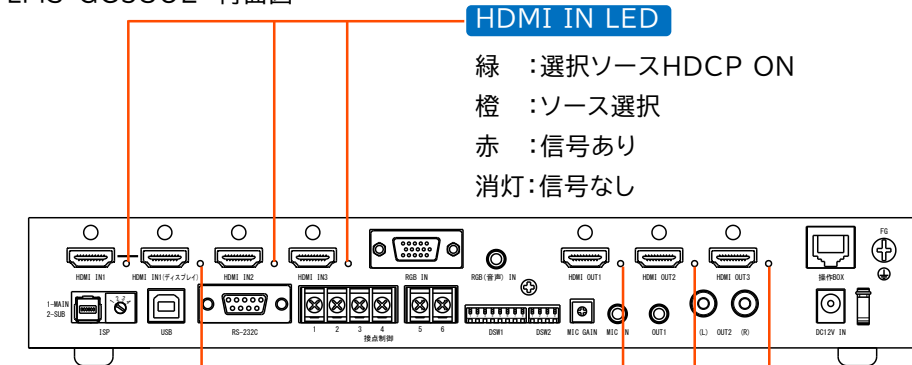
POWER LED

緑 : 起動中
 橙 : スタンバイ
 消灯: 電源OFF

HDMI IN LED

緑 : 選択ソースHDCP ON
 橙 : ソース選択
 赤 : 信号あり
 消灯: 信号なし

LMS-GC53U2 背面図



HDMI IN LED

緑 : 選択ソースHDCP ON
 橙 : ソース選択
 赤 : 信号あり
 消灯: 信号なし

HDMI IN(ディスプレイ) LED

緑 : HDCP ON信号出力
 橙 : EDID選択
 赤 : HPD検知
 消灯: 接続なし

HDMI OUT LED

緑 : HDCP ON信号出力
 橙 : EDID選択
 赤 : HPD検知
 消灯: 接続なし

7 DIPスイッチ設定 (LMS-GC53U2 本体)

DIPスイッチ変更の場合は、本体の主電源はOFFの状態に変更してください。

DSW	
1-1	パワーディストリビューター連動設定(主電源ONでシステム起動) (ON=連動モード OFF=非連動)
1-2~1-4	使用しません。
1-5	プロジェクター設定ソフト設定モード (ON=設定時 OFF=通常使用時) ※RSコネクターからの外部制御運用時にONにする必要があります。
1-6	使用しません。
1-7	スルーモード(ON=有効 OFF=無効) HDMI OUT1~3出力先の運用解像度がFullHD以外の時、 スケーラー機能を使用しないスルーモードに設定して使用してください。(PinP機能使用不可) ※スルーモード有効の場合、接続するモニターによってソース 切替え時に暗転する可能性があります。 ※適切な解像度を表示するためにラーニング設定が必要になる 場合があります。
1-8	プロジェクター強制制御モード(ON=有効 OFF=無効) 有効時はプロジェクターの状態取得は行いません。
2-1~2-2	使用しません。
2-3	スクリーン連動設定(ON=プロジェクター電源制御コマンド送信 OFF=操作BOX電源) 電源連動(スクリーン接点制御)有効時、操作BOX電源、プロジェク ター電源制御コマンドのどちらに連動するか設定します。
2-4	使用しません。

※DIPスイッチ設定表の「1-2」などの表記は、初めの数字がDSW1及びDSW2
であることを表し、後の数字がDIPスイッチの何番目であることを表します。

8 各部名称・LED(操作BOX)

プロジェクター電源

プロジェクター電源制御

緑点灯:プロジェクター起動

緑点滅:プロジェクター起動中/終了中

消灯 :プロジェクター電源スタンバイ

ファンクション ※左から順番にF1~F5

スクリーンの「降」(F2)「停止」(F3)

「昇」(F4)の制御

パワーディストリビューターの制御(F5)

緑点灯:ON 消灯:OFF

電源

システム電源制御

緑 :起動

橙 :スタンバイ

消灯:主電源OFF

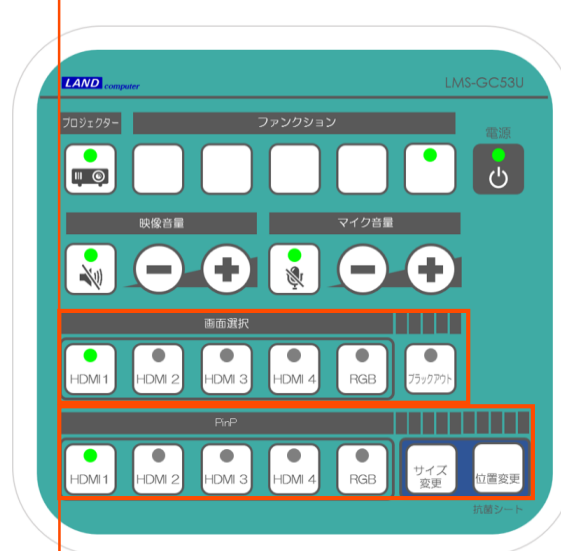
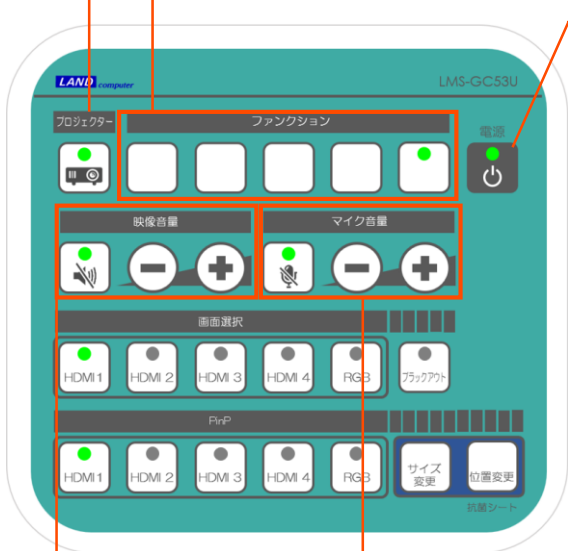
画面選択

HDMI1~4・アナログRGB:入力ソース切替え

緑点灯:ON(選択中) 消灯:OFF(非選択)

ブラックアウト:一時的に出力表示を黒画面に変更

緑点灯:ON(有効) 消灯:OFF(解除)



映像音量

映像ミュートボタン(🔇)

緑点灯:映像音声ミュートON

消灯 :映像音声ミュートOFF

ボリュームの調整 (-/+)

0~100の値で調節(21段階)

マイク音量

マイクミュートボタン(🔇)

緑 :マイク音声ミュートON

消灯:マイク音声ミュートOFF

ボリュームの調整 (-/+)

0~100の値で調節(21段階)

PinP

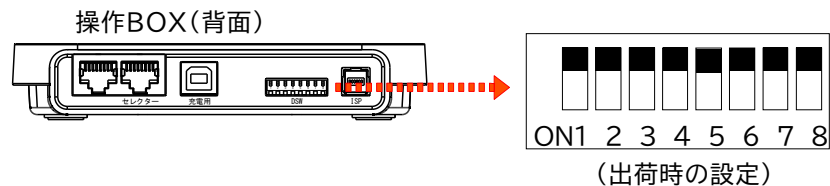
HDMI1~4・アナログRGB:PinPソース選択

緑点灯:ON(選択中) 消灯:OFF(PinP解除)

サイズ変更:大きさ切替え

位置変更:表示場所変更

9 DIPスイッチ設定 (操作BOX)



通常動作モード(DSW1=OFF)

通常運用時の設定を行います。DSW=1をOFFにしてください。

DSW	設定内容
1	通常動作モードでは使用しません
2	BEEP音設定(ON=消音 OFF=音あり) ※エラー音は消音対象外です。
3	電源連動(プロジェクターシリアル制御)(ON=無効 OFF=有効) 操作BOX電源OFF時にプロジェクターをOFFにします。
4	電源連動(スクリーン接点制御)(ON=無効 OFF=有効) 本体DSW2-3の設定に応じて、スクリーン制御の「降」と「昇」を実行します。
5	電源連動(パワーディストリビューター接点制御) (ON=無効 OFF=有効) 操作BOX電源OFF時にパワーディストリビューターをOFFにします。
6	PinP表示切替えラストメモリ(ON=無効 OFF=有効)
7~8	使用しません。

設定モード(DSW1=ON)

起動初期値設定や入力機器によって変更を行います。下記のDSW設定にして操作BOX電源ボタンONで起動すると各設定モードで起動します。

DSW	設定モード	初期値
1	起動時初期値設定	HDMI1
1・2	入力ソースの出力信号設定モード (HDMI/DVI)	全ソース点灯 (HDMIモード)
1・4	ADコンバーターの手動フェーズ調整モード	
1・2・4	ブラックアウト連動設定	全点灯(全連動)
1・3・4	プロジェクター制御設定	非選択(使用しない)
1・5	ラーニングモード	
1・3・5	EDID を FullHDからSXGA に変更	
1・3・6	EDID を FullHDからWUXGA に変更	
1・3・7	スケーラー出力 を WUXGAまたはFullHD に切替え	FullHD
1・5・6	取得したEDIDを初期化	LEDID初期値はFullHD
1・6	ボリューム初期値設定	全ソースボリューム80 マイクボリュームは100

※設定モードの設定内容については、次ページを参照ください。

9 DIPスイッチ設定 (操作BOX)

設定モードで可能な設定内容は以下のとおりです。

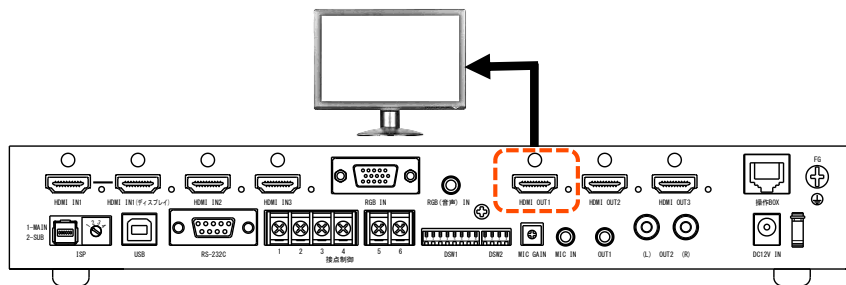
DSW	設定内容
1 起動時初期値設定	起動時初期設定が可能なもの 各入力ソース選択/プロジェクター電源/2画面表示 パワーディストリビューター電源/ミュート/ブラックアウト
1・2 入力ソースの 出力信号設定	15 よくあるお問い合わせ 「■ ソース切替えすると出力音声または画像にノイズが乗る」参照
1・4 RGB画質 手動調整設定	RGB出力画像が乱れる場合に調整します。 スクリーン制御の「F2(▼)」「F4(▲)」ボタンで調整してください。設定値の下限・上限に達すると『ピッピッピッ』とピー音が鳴ります。「F3」ボタンで初期値に戻ります。
1・5 ラーニング設定	運用解像度に合わせて全ての入力機器に対してEDIDを擬似的に見せる機能です。 (設定方法は「10 EDID設定方法」を参照) ※FullHD以外の解像度を使用する場合に設定します。
1・3・5 EDID変更	入力機器に対して見せているEDIDをFullHDからSXGAに変更します。
1・3・6 EDID変更	入力機器に対して見せているEDIDをFullHDからWUXGAに変更します。
1・5・6 EDID初期化	入力機器に対して見せているEDIDを初期値(FullHD)に戻します。
1・6 ボリューム 初期値設定	各ソースのシステム起動時の初期値ボリュームを設定します。 任意のソースを選択し、「+」「-」ボタンで調節してください。 (マイクボリューム初期値は「ブラックアウト」ボタンを選択。)

DSW	設定内容																		
1・2・4 ブラックアウト 連動設定	HDMI1～HDMI4のボタンを押下(複数選択可) 点灯=ブラックアウト連動 非点灯=ブラックアウト連動しない <table border="1" data-bbox="1425 268 1889 468"> <thead> <tr> <th>選択ボタン</th> <th>連動先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HDMI1</td> <td>HDMI OUT1</td> </tr> <tr> <td>HDMI2</td> <td>HDMI OUT2</td> </tr> <tr> <td>HDMI3</td> <td>HDMI OUT3</td> </tr> <tr> <td>HDMI4</td> <td>USB OUT</td> </tr> </tbody> </table>	選択ボタン	連動先	HDMI1	HDMI OUT1	HDMI2	HDMI OUT2	HDMI3	HDMI OUT3	HDMI4	USB OUT								
選択ボタン	連動先																		
HDMI1	HDMI OUT1																		
HDMI2	HDMI OUT2																		
HDMI3	HDMI OUT3																		
HDMI4	USB OUT																		
1・3・4 プロジェクター 制御設定	選択ボタンを押して任意のプロジェクターを選択してください。(択一選択) ※RS-232Cケーブルでプロジェクターを接続してください。 ※プロジェクター制御を使用しない場合は非選択にしてください。 <table border="1" data-bbox="1410 659 1889 1016"> <thead> <tr> <th>選択ボタン</th> <th>プロジェクター制御</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非選択</td> <td>制御しない</td> </tr> <tr> <td>HDMI1</td> <td>PJLinkアダプタ</td> </tr> <tr> <td>HDMI2</td> <td>SONY</td> </tr> <tr> <td>HDMI3</td> <td>EPSON</td> </tr> <tr> <td>HDMI4</td> <td>Panasonic</td> </tr> <tr> <td>RGB</td> <td>NEC</td> </tr> <tr> <td>ブラックアウト</td> <td>RICOH</td> </tr> <tr> <td>2画面表示</td> <td>手動設定</td> </tr> </tbody> </table>	選択ボタン	プロジェクター制御	非選択	制御しない	HDMI1	PJLinkアダプタ	HDMI2	SONY	HDMI3	EPSON	HDMI4	Panasonic	RGB	NEC	ブラックアウト	RICOH	2画面表示	手動設定
選択ボタン	プロジェクター制御																		
非選択	制御しない																		
HDMI1	PJLinkアダプタ																		
HDMI2	SONY																		
HDMI3	EPSON																		
HDMI4	Panasonic																		
RGB	NEC																		
ブラックアウト	RICOH																		
2画面表示	手動設定																		
1・3・7 スケーラー出力 WUXGA/ FullHD に切替え	電源ボタンを押すと下記の設定に切り替わります。 <table border="1" data-bbox="1178 1102 1839 1216"> <thead> <tr> <th>出力解像度</th> <th>LED</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FullHD</td> <td>画面選択 HDMI1緑点滅</td> </tr> <tr> <td>WUXGA</td> <td>画面選択 HDMI2緑点滅</td> </tr> </tbody> </table> スケーラー出力をWUXGAにする場合はEDIDをWUXGAに変更してください。(前項参照)	出力解像度	LED	FullHD	画面選択 HDMI1緑点滅	WUXGA	画面選択 HDMI2緑点滅												
出力解像度	LED																		
FullHD	画面選択 HDMI1緑点滅																		
WUXGA	画面選択 HDMI2緑点滅																		

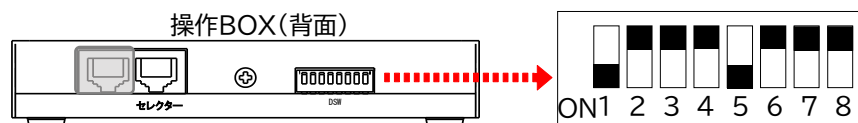
10 EDID設定方法

ラーニング機能とは、全ての入力機器に対して運用解像度に合わせてEDIDを擬似的に見せる機能のことです。

①HDMI OUT1にラーニングするモニターを接続



②DSW-1・5 ONにして操作BOX電源ON



③ラーニング中は操作BOX電源LEDが緑に点滅

調整完了時に「ピッピッピッ」と短く3回BEEP音が鳴ります。

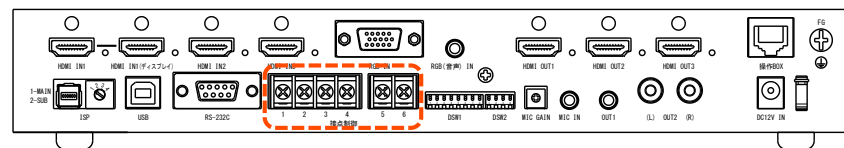


④LMS-GC53U2のDSW1-7はON(スルーモード設定)であることを確認します。

⑤操作BOX(背面)の全てのDSWスイッチを「②」作業前の状態に戻し、LMS-GC53U2の主電源スイッチをOFF/ON(再起動)して完了です。

※EDID をラーニングするのではなく、FullHDからSXGA に変更する場合は、DSW-1・3・5 ONにして操作BOX電源ONし、③～⑤を実施してください。WUXGAに変更する場合は、DSW-1・3・6 ONにして操作BOX電源ONし、③～⑤を実施してください。

11 接点制御(ファンクションボタン制御)



接点番号	操作BOXボタン	機能	ボタン押下時の挙動
1	F2(▼)	スクリーンを下ろす	メーク500mS パルス幅500mS
2	F3(⏸)	一時停止	
3	F4(▲)	スクリーンを上げる	
4		コモン	

※スクリーン制御はa接点(メーク制御)×3の仕様に準拠するものを想定しています。

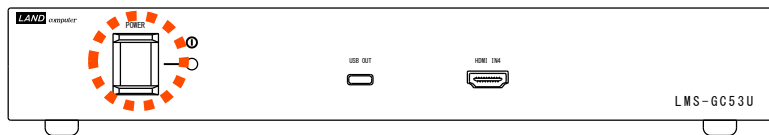
接点番号	ファンクションボタン	機能	ボタンON時の挙動
5	F5(AV電源 ON/OFF)	パワーディストリビューター電源制御	メーク(常時)
6		コモン	

※パワーディストリビューター電源制御はメーカー仕様に依存します。

a接点(メーク制御)×1の仕様に準拠するものを想定しています。

※ファンクションボタンには表記名がありません。ご使用される場合は添付の操作BOX用シールを貼り付けてください。

1 本体 主電源ボタンをONにする(スタンバイ)



2 操作BOX 「電源」ボタンを押す(システム起動/終了)

・システム起動/終了時の電源LEDの状態は以下のとおりです。



状態	本体 POWER LED	操作BOX 電源 LED
主電源OFF	消灯	消灯
スタンバイ	橙	橙
システム起動	緑	緑

・電源ボタン長押しで終了すると電源連動設定(操作BOX DSW-3・4・5)が無効で終了します。

・通常使用する場合、主電源ボタンはON状態でお使いください。

ソース選択とブラックアウト



- ・『画面選択』から表示させたいソースを選択します。
- ・一時的に表示を行わない場合は『ブラックアウト』ボタンを押してください。
- ※ブラックアウト時も音声は出力されます。

ボリュームの調整



- ・『+』『-』からマイクまたは入力ソースの音声を調節を行います。
- ・『🔇』ボタンを押すと入力機器のボリュームミュートになります。
- ・『🔊』ボタンを押すとマイクボリュームのミュートになります。

プロジェクターの電源制御



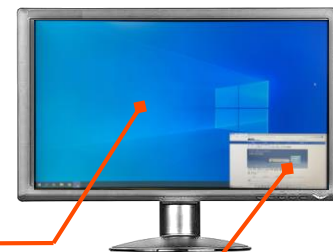
- ・プロジェクターボタンからプロジェクターの電源制御を行います。
- 各プロジェクターの設定方法は「9 DIPスイッチ設定(操作BOX)」を参照してください。
- ・操作BOXのDIPスイッチ3をOFFにすると、操作BOX電源OFF時にプロジェクターOFFが連動します。

※PJLinkアダプタ接続時も同様の操作で制御が可能です。詳細につきましては『LAD-ETPJ1ユーザーズガイド』を参照してください。

Pinpicture in Picture



『PinP』の任意のソースを押すとPicture in Pictureモードになります。



メインソース
PinP

表示位置・サイズ切替え



- ・Picture in Picture表示中に「サイズ変更」ボタンを押すとPinPのサイズが変更されます。
- 表示サイズは「1/9」(初期値)⇒「1/16」⇒「1/25」⇒「1/2」⇒「1/4」の順番で遷移します。
- 1/2サイズ

- ・Picture in Picture表示中に「位置変更」を押すと表示位置を変更します。
- 右下⇒左下⇒左上⇒右上の順番で表示遷移します。



スクリーンの昇降

※接点接続時のみ制御可



- ・スクリーンの『昇』『降』『停止』の制御を行います。
- ・操作BOXのDIPスイッチ4をOFFにすると、操作BOX電源制御時にスクリーン昇降が連動します。

パワーディストリビューターの電源制御 ※接点接続時のみ制御可



- ・パワーディストリビューターの電源ON/OFFを行います。
- ・初期設定(電源ON連動)と操作BOXのDIPスイッチ5をOFF(電源OFF連動)にすると、操作BOX電源制御時にパワーディストリビューターが連動します。

※操作BOXのパワーディストリビューターの電源ボタンはパワーディストリビューターのステータスに連動していません。
手動でパワーディストリビューター側をON/OFFの操作をするとステータス不一致が生じます。

RGB出力画像の画質調整



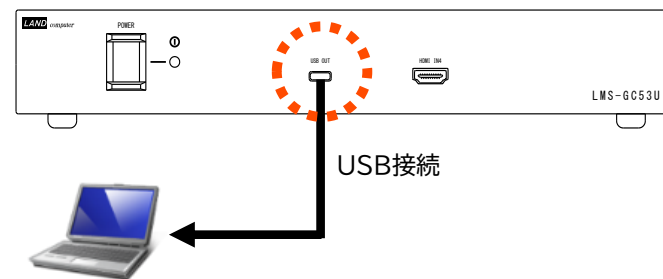
- ・RGB出力画像が揺れている場合、『RGB』ボタンを3秒間程長押しし、画質調整を実施します。画質調整は自動で実施され、完了時は、『ピッピッ』とビーブ音が鳴ります。

※出力画像や入力機器によっては、画質調整が成功しない場合があります。
画質調整を数回実施しても出力画像の揺れが収まらない場合は、出力画像を変更して画質調整を実施すると画面の揺れが改善する場合があります。
※それでも改善されない場合は、「9 DIPスイッチ設定(操作BOX)」
「RGB画質手動調整設定」を参照し、手動で調整を行ってください。

プロジェクター設定ソフト ダウンロードサイト

弊社WEBページからプロジェクター設定ソフトをダウンロードしてください。

<https://www.landcomp.co.jp/download/software/lms-gc53u/>



※PC側のUSBはUSB3.0以上のポートをご使用ください。

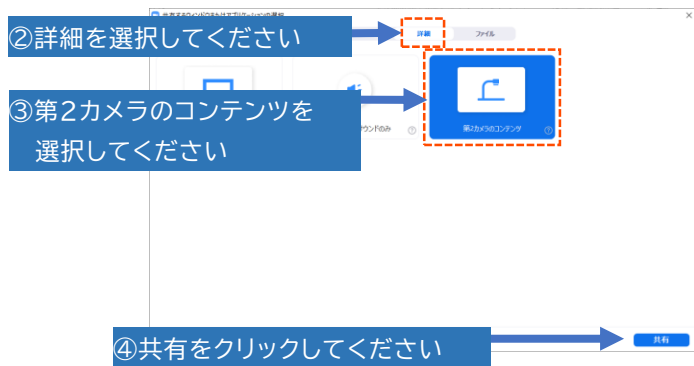
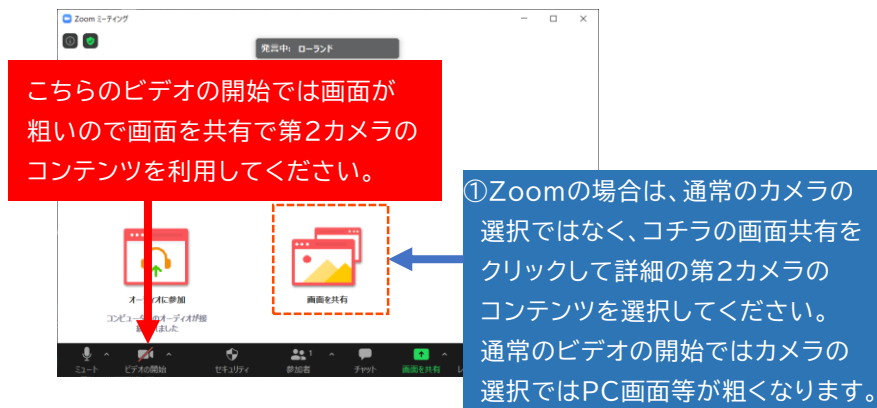
※対応するビデオチャットシステムは「Zoom」「Microsoft Teams」「Cisco Webex」「Google Meet」

ご注意

- 1) 私的使用のための複製など著作権法上認められた場合を除き、本製品を使用して作成した画像、音声等を、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
- 2) 著作権を侵害するデータを受信して行うデジタル方式の録画・録音を、その事実を知らずに行うことは著作権法違反となります。
- 3) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

14 ビデオチャット設定方法

Zoomをお使いの場合

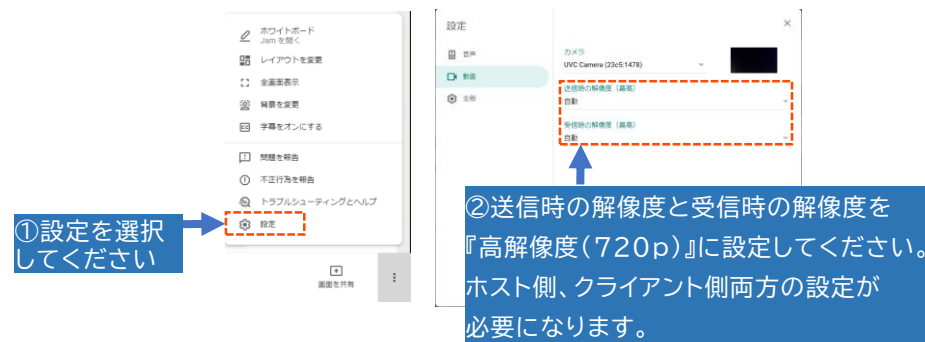


Microsoft Teams CiscoWebexをお使いの場合

カメラを『HDMI Capture』、マイクを『Capture Audio』に設定してご使用ください。他の設定は普段お使いの設定でご使用できます。

Google Meetをお使いの場合

カメラを『HDMI Capture』、マイクを『Capture Audio』に設定してご使用ください。右下の『その他のオプション』-『設定』-『動画』で送信時の解像度と受信時の解像度を『高解像度(720p)』に設定してください。



オンラインサポート修理受付

修理サービスでは、製品をお預かりして修理させて頂くセンドバック方式が基本となります。修理期間中はお客様にご不便をおかけいたしますが、修理期間中の代替機貸出しサービス等も行ってまいりますので、合わせてご検討ください。修理のご依頼は右のQRコードからアクセスしてください。

https://www.landcomp.co.jp/support/repair/rep_online.htm



※ビデオチャットの使用方法については、各社のマニュアルをご確認ください。

■ 映像が表示されない

- ・ディスプレイとデバイスを直接接続して映像が出力されますか？
- ・ディスプレイ・プロジェクターはFullHDまたはWUXGA対応ですか？ 出力解像度はFullHD(1920×1080)・WUXGA (1920×1200)です。
⇒任意の出力解像度設定に変更してください。
- ・HDCP対応 ディスプレイ・プロジェクターですか？
⇒本システムはHDCP非対応ディスプレイ・プロジェクターへは表示されません。
- ・選択ソース未選択またはブラックアウト制御になっていませんか？
- ・入力機器の解像度は本製品の対応解像度になっていますか？

■ 音声が出力されない

- ・音声出力先が正しく設定されていますか？(HDMI入力に接続したPCの音声が出力されない場合、既定の再生デバイスとしてLEDIDが指定されていますか？)
- ・選択ソース未選択またはミュート制御になっていませんか？
- ・ボリューム制御で音が小さくなっていませんか？

■ パワーディストリビューター・スクリーンが制御できない

- ・手動でパワーディストリビューター側をON/OFFの操作を実施していませんか？
⇒操作BOXのパワーディストリビューターの電源ボタンはパワーディストリビューターのステータスに連動していません。そのため、手動でON/OFFの操作をするとステータス不一致が生じます。

■ プロジェクターが制御できない

- ・プロジェクターがクーリング中または起動中になっていませんか？
⇒プロジェクターがクーリング時は、プロジェクター電源ON制御を禁止しています。(操作BOXプロジェクター電源ボタンが点滅)
- ・リモコンでプロジェクターON/OFF操作を実施していませんか？
⇒操作BOXのプロジェクター電源ボタンはプロジェクターのステータスに連動していません。リモコンでプロジェクターON/OFFの操作をするとステータス不一致が生じます。

■ ソース切替えすると出力音声または画像にノイズが乗る

- ・DVI-HDMIケーブルで入力した機器をソース切替えすると出力音声または画像にノイズが乗る場合があります。以下の設定で回避することができます。
 - ① 操作BOX背面にあるDSW 1・2ONして電源起動
 - ② 設定モード中に点灯しているソースは入力ソースにHDMIモード。消灯しているソースはDVIモードになります。入力1～5ボタンを押すとHDMIモードとDVIモードが切替わります。DVI接続しているソースをDVIモードにします。
 - ③ 操作卓の電源ボタンOFFし、LMS-GC53U2側主電源再起動。

※設定後も音声ノイズが生じる場合はサポート部までお問い合わせください。

■ USBキャプチャーが正常に動作しない

- ・USB3.0ポートに接続していますか？
- ・USB3.0ポートに接続していてもUSB2.0として認識される可能性があります。
⇒接続時は素早く接続を行ってください。

■ HDMI IN1(ディスプレイ)に接続した表示装置に砂嵐が表示される

- ・PCのシャットダウンやサインアウト時など、HDMI IN1に入力している機器で映像の瞬間的な切断が発生した場合に、表示装置によっては一時的にこの現象が発生する場合があります。

通常はすぐに正常な状態に戻りますが、表示装置によっては稀に10秒程度復帰に時間がかかる場合があります。

■ 操作BOXを使用せずにLMS-GC53U2を制御したい

- ・LMS-GC53U2 背面のRS-232CまたはUSB(Type-B)からLMS-GC53U2を制御することができます。外部制御向け通信仕様書は無償提供します。

ご希望の方は下記のサポート部までお問い合わせください。

お問い合わせ

ビデオチャット対応シームレスセクター

◇ <LMS-GC53U2 ユーザーズガイド> ◇

発行所: 株式会社ランドコンピュータ

Printed In Japan

サポート部: (0120)161639 (フリーダイヤル)

オンライン受付:

<https://www.landcomp.co.jp/support/repair/rep online.htm>

E-mail: support@landcomp.co.jp

< 本 社 > 〒532-0011大阪市淀川区西中島7-4-17 新大阪上野東洋ビル

TEL 06(6304)8424 FAX 06(6307)2121

< 熊本テクニカルセンター >

〒861-2202 熊本県上益城郡益城町田原 テクノリサーチパーク内

TEL 096(286)9341 FAX 096(286)9342

製造番号 (S/N)		型式	LMS-GC53U2
品名	ビデオチャット対応シームレスセクター		
保証期間	ご購入日より 5年間 有効です		
お客様	ふりがな		
	お名前		
	〒	Tel()	-
販売店	ご住所		
	ご購入日		
	住所・店名		
	Tel() -		

印

ご販売店様へ

お客様に商品をお渡しする際に必ず、製品本体に記載している製品番号(S/N)及び、ご購入日、貴店名/住所、貴店印をご記入ご捺印ください。記入漏れの場合、弊社、出荷日起点での保証期間での対応となります。

保証規定

- この製品は、当社の厳密な製品検査を経てお届けしたものです。保証期間内に正常な使用状態において、万一故障した場合は、無料修理を行いますので、当社又は販売店に本製品と本保証書を添えてお申し込みください。
 - 本保証書はお買い上げ日より有効です。
 - 当社までの送料はご負担をお願いします。尚、ご返送いただく場合には、必ず運送保険をおかけください。
 - 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 次のような場合には、保証期間中でも有料修理になります。
 - 使用上の誤り、あるいは不当な改造や修理による故障及び損傷。
 - お買い上げ後の移動・落下などによる故障及び損傷。
 - 火災、天災、塩害、ガス害、異常電圧等による故障、損傷の場合。
 - 当社以外で修理、調整、改造された場合。
 - 接続している他の機器に起因して本製品に故障を生じた場合。
 - 本保証書の提示が無い場合。
- 本製品の故障のため生じた2次的事故(データ、プログラム、メディア等含む)については保証対象外とさせていただきます。
- 保証期間はご購入日より5年間です。この期間内であれば修理代は無料といたします。
- お買い上げ後5年間を過ぎた場合の修理代金は、当社規定の修理基本料金+部品代実費とさせていただきます。但し、調査の結果、故障とは認められない場合にも、調査費はいただきますのでご了承ください。
- 納入後1か月以内で、仕様が合わなくて正常に動作しない場合は、返品を受付させていただきます。(但し特注品を除きます)
- 本製品を運用した結果のデータに関しては、保証対象外とさせていただきます。
- 当社の商品は、日本国内仕様です。商品を日本国外で使用された場合は、当社は一切の責任を負いかねます。また、当社は商品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、あらかじめご了承ください。